

乳房外パジェット病

高齢者の外陰部, 時に腋窩にみられる皮膚腫瘍. 紅色局面でかゆみがあり, 湿疹と間違われて見逃されていることが多い.

徐々に増大し, 腫瘍内に白斑, びらん, 腫瘤を伴う.

病期

病期Ⅰ: 腫瘍が表皮内にとどまるか真皮内に微小浸潤したもの.

病期Ⅱ: 腫瘍が結節性に真皮に浸潤したもの.

病期Ⅲ: 腫瘍が脈管内に浸潤するか, 所属リンパ節に転移したもの.

病期Ⅳ: 遠隔転移のあるもの.

治療と予後

病期Ⅰ, Ⅱは, 腫瘍辺縁から皮膚側3cm, 粘膜側1cm 離して拡大切除する. 予後は良好.

病期Ⅲは, 拡大切除およびリンパ節郭清. 予後は比較的良好.

病期Ⅳは, 化学療法や放射線療法が行われるが, 確実な効果は期待できない.

乳房外パジェット病の診療アルゴリズム

